



2008年02月28日
独立行政法人海洋研究開発機構

護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」衝突事故海域調査 ～海洋調査船「なつしま」による調査における発見物について～(2)

海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)の海洋調査船「なつしま」による護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」衝突事故海域調査において、無人探査機「ハイパードルフィン」により、2点目、3点目(「ディーブ・トウ」発見物を合わせて8点目、9点目)となる人工物と思われる物体を発見しましたのでお知らせします。

1. 発見物

(写真1)

- (1) 位置 : 北緯34度31分、東経139度49分 水深1,844m(図1)
- (2) 撮影日時 : 平成20年2月28日(木) 15:14

(写真2)

- (1) 位置 : 北緯34度31分、東経139度49分 水深1,842m
- (2) 撮影日時 : 平成20年2月28日(木) 16:00

この情報は、同日、海洋研究開発機構より文部科学省に提供し、文部科学省は官邸危機管理センター、海上保安庁、防衛省に提供したと聞いています。現時点で、本件情報が今回の事故と直接関係すると海上保安庁等において判断されたとは聞いておりません。

South Off Boso

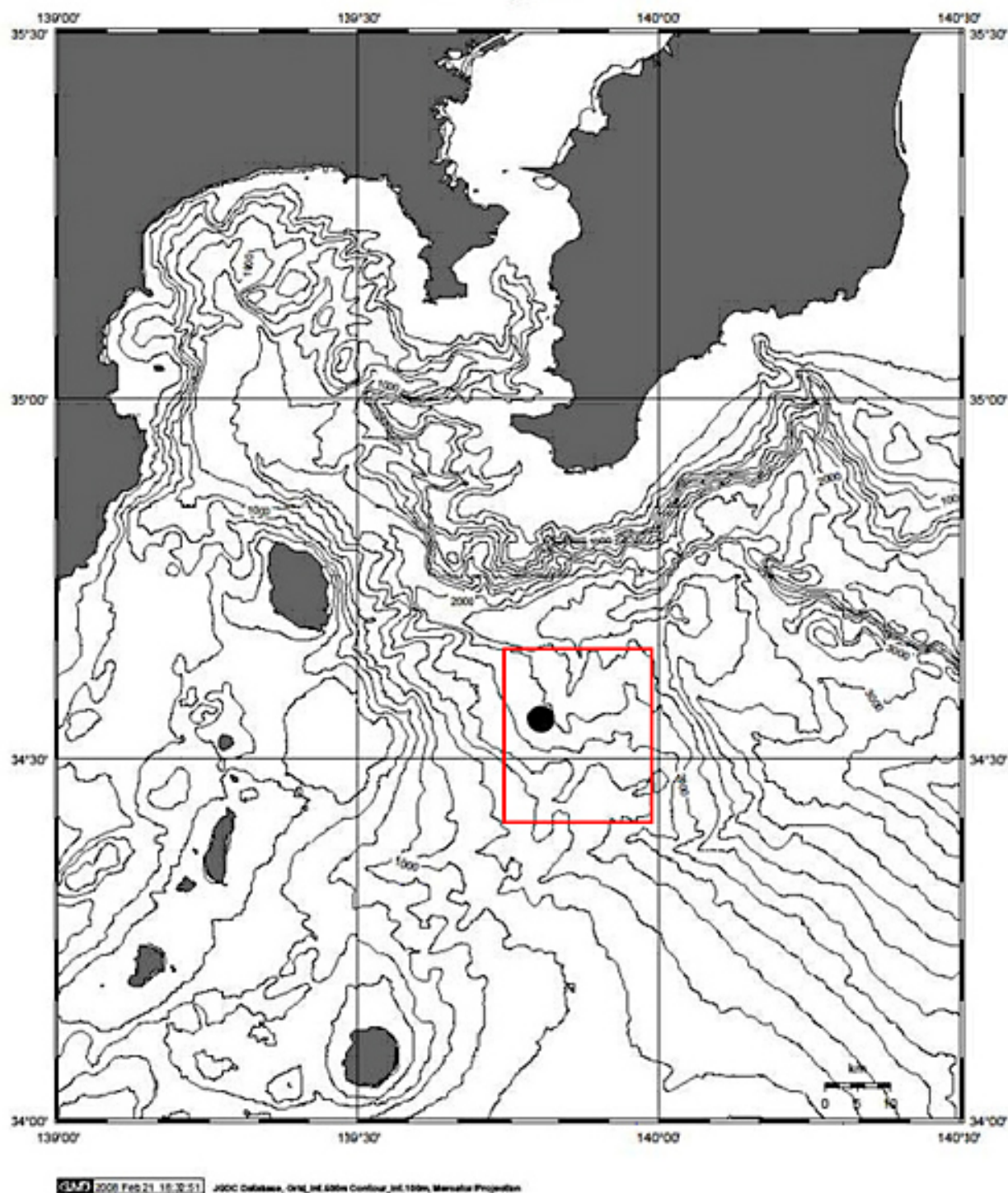


図1 調査海域図(●が調査地点及び撮影地点、□が調査海域)

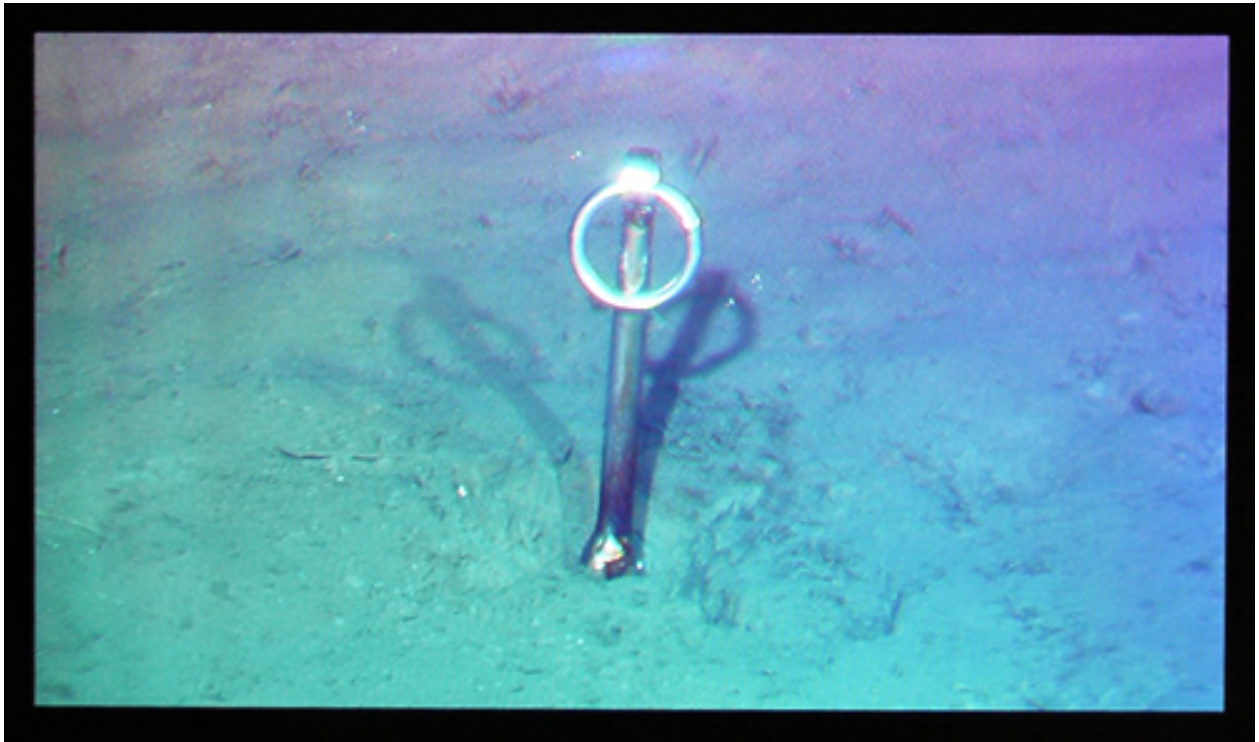


写真1(北緯34度31分、東経139度49分 水深1,844m
船上のディスプレイをデジタルカメラで撮影した画像)

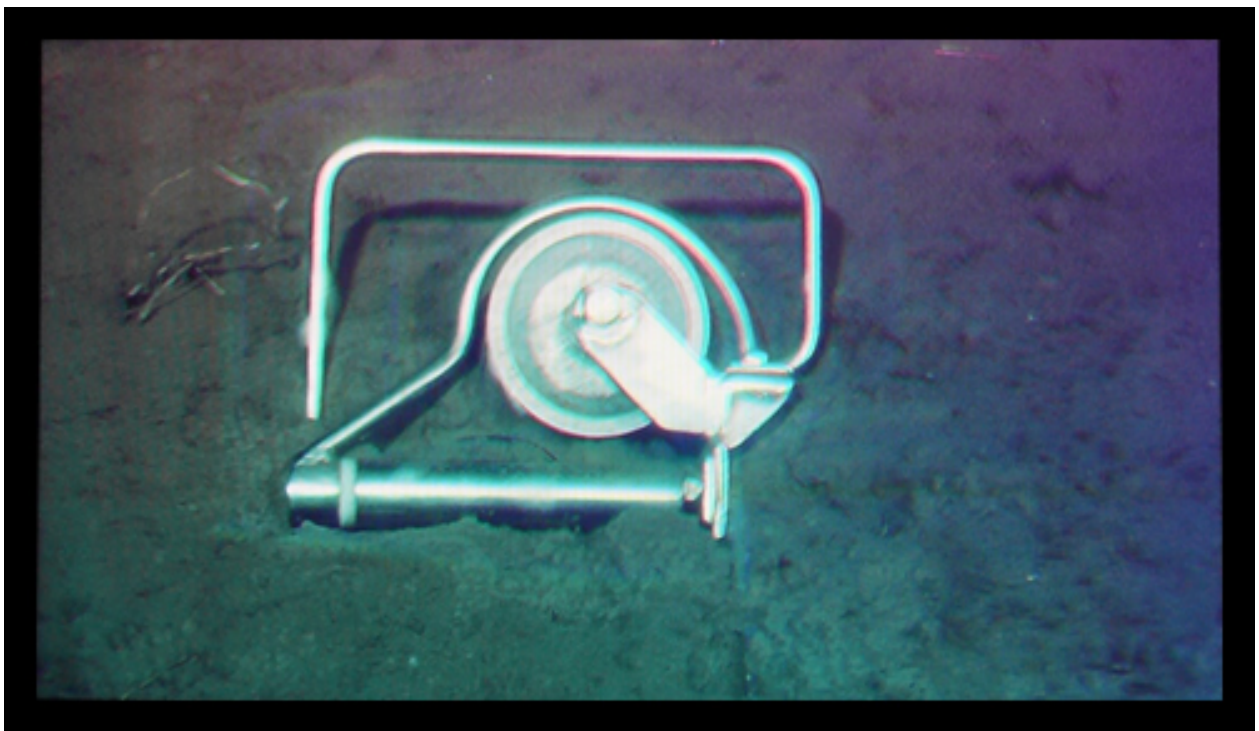


写真2(北緯34度31分、東経139度49分 水深1,842m
船上のディスプレイをデジタルカメラで撮影した画像)

お問い合わせ先:
海洋研究開発機構 経営企画室
報道室長 大嶋 真司